

平成30年度 長野市地域包括支援センター運営協議会 報告書

日 時	平成30年 7月31日 (火) 午後 1時30分 ～ 3時30分
会 場	長野市役所第一庁舎 7階 第1委員会室
出席者	委員12人 (欠席 金井委員、宮澤委員、清水委員) 事務局11人 地域包括支援センター代表 3人
次 第	<p>1 開 会 地域包括ケア推進課 森澤補佐</p> <p>2 あいさつ 小山会長 竹内保健福祉部長 委員交代 長野県看護協会長野支部推薦の委員の交代について 委嘱状の交付 新委員さんからのあいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 平成29年度事業報告・収支決算について 説明：地域包括ケア推進課 森澤補佐 (資料1、資料3) 中部地域包括支援センター 池田所長 (資料1)</p> <p>(2) 平成29年度事業内容の評価について 説明：中部地域包括支援センター 池田所長 (資料2)</p> <p>(3) 平成30年度事業計画・収支予算について 説明：地域包括ケア推進課 森澤補佐 (資料3、資料5)</p> <p>(4) 介護予防支援業務の指定居宅介護支援事業所への委託について 説明：中部地域包括支援センター 松澤係長 (資料6)</p> <p>(5) その他</p> <p>5 閉 会 地域包括ケア推進課 森澤補佐</p>
質 疑 応 答 要 旨	
委 員	(1) 平成29年度事業報告・収支決算について (資料1、2、3)
事 務 局	オレンジカフェが増加し、地域の中から行っているという声があるので、かなり頑張 ってらっしゃると思う。その中で、最初に開設した所が26年度の5か所とあるがこうい った所は、オレンジカフェをずっと継続できているのか教えてほしい。
委 員	1カ所閉鎖している所はあるが、残りのオレンジカフェは継続している状況。
委 員	かなり頑張っていて、地域の認知症への支援体制ができていると思った。いろ いろな方からオレンジカフェに行っているという声は耳に入ってきているので、実態と してすごいと思っていた。
委 員	私どもの病院のケアポート三輪でも地域包括支援センターをやっており、理学療法士 を半日配置しているが、この職員数の表では、理学療法士は「事務職等」に含まれてい るという事か。

事務局	表の欄の関係で、今回は事務職等の「等」の部分に含んでいる。
委員	他のセンターで、理学療法士や作業療法士を配置している所はあるか。
事務局	ありません。
会長	<p>地域包括支援センターの全体の仕事量が増えてきているというのは、報告からわかると思う。例えば、相談件数が病院併設になり来所する方が増えているなど、相談件数そのものを見ても4,000件増えているのは大変な量であり、今後ますます増えていく事が予想されるが、果たしてこの人数で大丈夫なのか。更に、相談の内容も複雑化、困難なケースが増えていると聞いている。</p> <p>そこで、本日は直営包括以外の委託包括の方も出席しているので、その辺りの実際の話を知りたい。</p>
委託包括代表	新規ケースの相談で事前に電話がなく突然来所される相談、遠方からの相談、他の包括でうまくいかず地域を越えての相談、家族の中の不和をはじめとした障害の方や子供を含めた複合家族の支援、表面化してこない虐待に関する相談など様々な相談が増えていると思う。
委託包括代表	私どもの地区では最近になって、生活困窮のケースがかなり相談として増えてきている。親子二人暮らしで、今まで親御さんの年金で生活していたが、介護が必要になって経済的にまわらなくなってきた。その要因として、同居している子供世代が精神的な病気、いわゆる引きこもりや閉じこもりがある。こういったケースは親御さんの介護によって顕在化し、包括支援センター等と関わっていくというのが最近目立っている。
委託包括代表	最近目立つ相談として、独居の方が多くなってきているので、遠方にいる親族の方からの安否確認の問い合わせの相談が多くなってきている。
会長	そういった課題が増えてきている中での対応の仕方について、他の包括や直営包括との連携などがあると思うが、その連携の仕方についてどうか伺いたい。
委託包括代表	対応するケースとして、高齢者の介護だけではなく、家族全体の生活支援なども増えてきているので、包括だけの専門性では対応できないところもある。そういった場合については、長野市の専門の課や社協や専門機関の方と連携をとってやっている。連携をとりながらやる中で、軌道に乗ればそれぞれ役割分担をして対応しているので問題解決に向けては対応できているが、軌道に乗るまでは、少人数で対応しているため、会議の開催、資料作成という業務は少しずつまわらなくなっているのが現状。
委託包括代表	<p>連携のチームを作ることや複数で対応していくことに時間がかかる。医療機関との連携はお互いのやり方や時間の調整がつかないなどの課題がある。</p> <p>また最近必要性を感じるのは、障害サービスからの移行についての連携。費用や内容</p>

	<p>的な制限の問題などがあるため、よりスムーズな移行ができるよう時間をかけて相談していく必要があると思っている。</p>
委託包括代表	<p>認知症や経済問題があり、家族が遠方にあるケースで、市の認知症初期集中支援チームに相談していただき、すぐに受診や調査に繋がり、連携がスムーズにいったケースもある。</p>
会 長	<p>これから複合化された問題を抱えた家族が増えていく。理解を得られないなど一つのケースに時間がかかってしまう場合に、チームでやるという事は必要。また行政が今、市民に対し介護保険のあり方や自立支援について等、啓蒙・啓発をしっかりやっていただきたい。</p>
会 長	<p>ケアマネジャーに対する研修や連絡会の実施が増えていると同時に相談件数も増えている。ここ3年間で世の中が変化してきている。効果的な支援のあり方について、多職種での関わり方、ケアマネの支援等についての良い研修があるので、各地区でも実施をして、ケアマネのスキルアップ、またレベルを上げていってほしいと思う。</p>
	<p>(2) 平成29年度事業内容の評価について (資料4)</p> <p>質疑なし</p>
	<p>(3) 平成30年度事業計画・収支予算について (資料3、5)</p>
委 員	<p>生活支援体制整備が進んでいる中で、足の確保が課題になっていると聞いているが、支援体制としては何かあるのか。</p>
事 務 局	<p>各地域で通いの場など「場」を作ってもそこへ行く足がないというのは、どこも課題になっている。各地区に検討会等を立ち上げる中で、その辺りも検討していくようになる。地区内だけでは解決できないことでもあるので、今年度、長野市全体の検討会を立ち上げる予定。そういった中で足の確保や支援について検討していきたいと考えている。現状では、検討研究段階。</p>
委 員	<p>長野市でも、車の免許返納をしたら、適切な支援があるなど、みんなが出掛けやすい環境体制をぜひ整えていただきたい。</p>
会 長	<p>地域ケア会議の充実について、個別ケア会議のさらに上のところを求められている状況にあるが、委託包括としてどう考えているか。</p>
委託包括代表	<p>個別会議自体も定期開催できていないためにネットワーク会議にあげるだけのデータ集約ができておらず、今までは単発の地域ネットワーク会議の実施となっていた。30年度からは、個別ケア会議の積み重ねとして、地域ネットワーク会議を開催していく予</p>

<p>委託包括代表</p>	<p>定で対応している。さらに、地域ネットワーク会議の積み重ねで、長野市ケア会議にも上げていけるように対応している。</p> <p>日々の業務の多さから、個別ケア会議から分析して地域の課題として捉える余裕がないのが現状。また地域ネットワーク会議開催に向けての準備など時間がない。今年度、地域ネットワーク会議は開催する予定だが、具体的な事が尽くされていない状態。</p>
<p>委託包括代表</p>	<p>昨年度のケア会議の件数は少ない状況。この状況の中、包括主催で準備をし、地域の課題を見出すとなると、なかなか難しいと思う。今後の課題ではある。</p>
<p>会 長</p>	<p>それぞれの地域によって見方や方向性は多少違うと思うが、日々の業務に忙殺されて本来取組むべき地域課題の把握から地域づくりへの取組みが滞った状態が続くことは問題だと思う。</p> <p>今年度は、ケア会議のやり方など学んでいらっしゃるところなので、30年度の実績報告で件数が増えていること期待しています。</p> <p>(4) 介護予防支援業務の指定居宅介護支援事業所への委託について</p> <p>承認</p> <p>(5) その他</p> <p>次回の会議について、平成30年11月を予定</p> <p>以上で議事をすべて終了する。</p>